



えり高進路だより

北海道えりも高等学校

進路指導部 第2号

発行：令和6年6月3日

文責：中野 秀泰

1回目の基礎力診断テストを振り返って

1年生、2年生のみなさん、4月に受験した基礎力診断テストの結果はどうでしたか？5月14日には、ベネッセコーポレーション様より講師の方々をお招きし、オンラインにて基礎力診断テストの結果と、これからの進路についてのご講話をいただきました。今回のえり高進路だよりでは、進路指導部として、それぞれの学年の状況を振り返りたいと思います。

平均GTZ		[前回]
国数英	国語	C3- []
D2- []	数学	D2- []
	英語	D2+ []

【1学年の結果】

上記の「GTZ (ジー・ティー・ゼット)」というのは、「学習到達ゾーン」の頭文字をとった略語です。1年生では、国数英全体で「D2-」、国語は「C3-」、数学は「D2-」、そして英語は「D2+」という結果でした。※これが初めてのテストなので、前回のデータはありません。

【結果は嘘をつかないと言うけれども】

自分の結果を見て、どう思いましたか？ この「GTZ」の値は、かなり精度の高いものと言われていいます。しかし、これは現時点での**基礎学力の「スペック」**が表れたものです。生まれつきの変えられない何かがある、「遺伝子検査」のようなものではありません。みなさんの結果から分かるのは、「これから気持ちを新たにして勉強に取り組むことで、自分ができることが増え、思いもよらないチャンスを手にする可能性がある」ということです。

【これからどうしたらいいのか】

答えは非常にシンプルです。まずは、「**毎日**無理をしない範囲で**必ず**勉強に取り組む」ことです。

① 授業で取り組んだ内容を、ワークで確認したり、ノートにまとめたりすること。

② 解けない問題や苦手な部分を、友達や先生の力を借りながら乗り越えていくこと。

1年生のみなさんは、この2つから取り組みましょう。寝る前に「今日はできたか？」を自分に問いかけると良いでしょう。英語で言えば「論表のワーク」が取り組みやすいと思います。2回目の基礎力診断テストは10月2日(水)の実施予定です。それまでにしっかり準備をしましょう。

平均GTZ		[前回]
国数英	国語	D1- [C3+]
	数学	D2+ [D2+]
	英語	D2+ [D1-]
D2- [D2+]		

GTZ上昇者	
国語	3人
数学	7人
英語	8人
国数英	1人

【2学年の結果】

まずは左側の「平均GTZ」から確認しましょう。ここで大切なのは、前回（去年の10月）との比較です。1年生から、国数英全体で「1段階ダウン」、国語は「3段階ダウン」、数学は「変わらず」、そして英語は「1段階ダウン」という結果でした。次に右側の「GTZ上昇者」を見て下さい。事前に配布された『one-Week トライアル』によく取り組んだ人は、特に良い結果が出たはずですよ。

【やりたいことの見よ】

この一年間で、これからやりたいことが具体的に想像できるようになってきたはずですよ。しかし、それだけでホッとしていませんか。ここからは、「やりたいことの見よ」に進まなければいけません。やりたいことを叶えるためには、特別な技能を身に付けなければいけません。また、社会人になれば、覚えることが山ほどあります。この先、何をやるのにも、「学ぶこと」を続けなくてはなりません。運や直感、センスだけでは、どうしても乗り越えられない部分がたくさん出てきます。

今の学力で、これからほんとうにやりたいことができそうか、ほんとうにやりたいことが続けられそうか、時間をかけてじっくり考えてみて下さい。

【コツコツと目の前の勉強に取り組もう】

「進級できたし、ラクしたって余裕だ」なんて思っている場合ではありません。自分の「GTZ」の結果を謙虚に受け止めましょう。ここからは、苦手なものに取り組む勇気を持ち、コツコツと目の前の勉強に取り組みましょう。「こんな勉強は自分の進路に何の役に立つんだ!？」と腹を立てたくなることもあるかも知れません。しかし、みなさんが勉強の「有用性」や「価値」を語るのには、まだまだ勉強が足りないように思えます。人生において、勝者が勝者であり続けられる期間はそれほど長くありません。いつか困った時のためにも、勉強をしっかりしましょう。